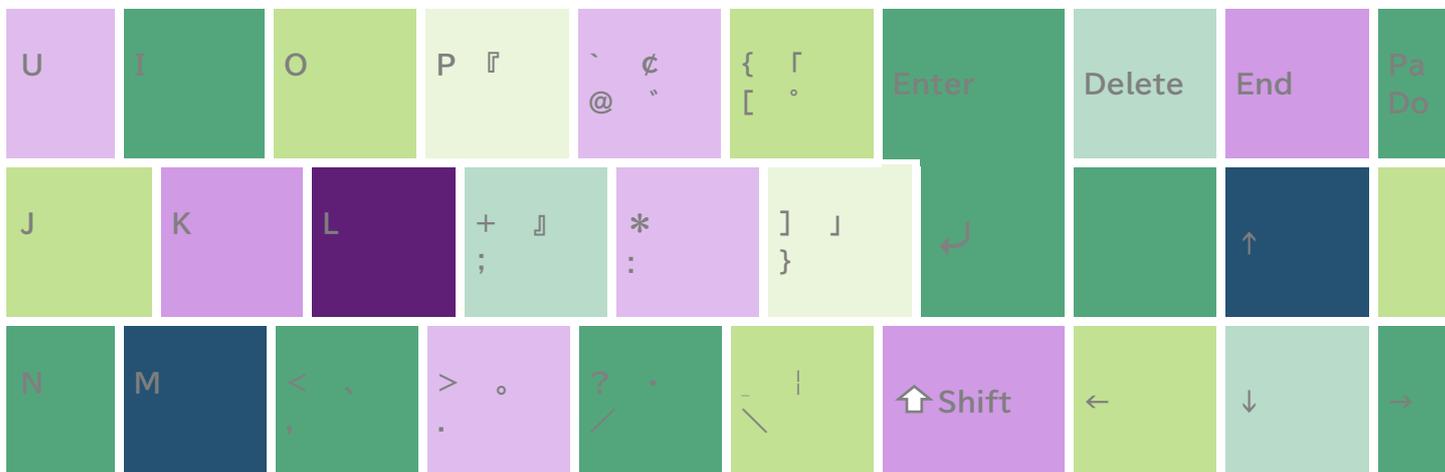


2026年度 研修のご案内

Seminar Guide

Ver.1.0

2026.4-2027.3



2026年度研修開催スケジュール

研修名	受講料 (税込)	日数	開催日	時間	掲載 ページ
1. 新入社員研修					
コンピュータシステムの基礎	¥56,100	3日間	4月 7-9日	9:00~17:30	P.6
システム開発の基礎	¥56,100	3日間	4月 10・13-14日	9:00~17:30	P.6
Java プログラミング① 基礎と実践	¥93,500	5日間	4月 15-17・20-21日	9:00~17:30	P.7
Java プログラミング② オブジェクト指向	¥149,600	8日間	4月 23-24・27-28・30日 5月 1・7-8日	9:00~17:30	P.7
データベース入門	¥74,800	4日間	5月 11-14日	9:00~17:30	P.8
WEBページ作成実習	¥56,100	3日間	5月 15・18-19日	9:00~17:30	P.8
サーバーサイドプログラミング	¥112,200	6日間	5月 20-22・25-27日	9:00~17:30	P.9
最終課題 アプリケーションの設計と実装	¥149,600	8日間	5月 28-29日 6月 1-5・8日	9:00~17:30	P.9
2. 一般情報処理技術					
C#プログラミング基礎	¥55,000	2日間	6月 24-25日	9:30~17:30	P.10
HTML5 と CSS3 による Web サイト作成	¥55,000	2日間	ご相談ください	9:30~17:00	P.10
AI エージェント時代の生成 AI リテラシー	¥22,000	1日間	7月 16日	9:30~16:30	P.11
 フィジカル AI 入門演習	¥66,000	2日間	10月 6-7日	9:30~17:30	P.11
AI エージェント時代のソフトウェア開発 実践演習	¥55,000	2日間	11月 11-12日	9:30~17:30	P.12

研修名	受講料 (税込)	日数	開催日	時間	掲載 ページ
3. ヒューマンスキル					
IT 技術者のためのコミュニケーション	¥55,000	2日間	7月 9-10日	9:30~17:00	P.13
IT 技術者のためのドキュメンテーション	¥55,000	2日間	7月 23-24日	9:30~17:00	P.13
IT 技術者のためのネゴシエーション	¥82,500	3日間	9月 14-16日	9:30~17:30 (最終日は 17:00 まで)	P.14
IT 技術者のための リーダーシップとチームビルディング	¥82,500	3日間	10月 14-16日	9:30~17:30 (最終日は 17:00 まで)	P.14
失敗しないプロジェクトのための 段取り力 	¥82,500	3日間	9月 9-11日	9:30~17:30 (最終日は 17:00 まで)	P.15
失敗しないプロジェクトのための リスク先読み力 	¥82,500	3日間	10月 19-21日	9:30~17:30 (最終日は 17:00 まで)	P.15
チームリーダーのための人に教える技術	¥55,000	2日間	10月 29-30日	9:30~17:00	P.16
顧客の心をつかむITソリューション提案 の実践	¥55,000	2日間	11月 26-27日	9:30~17:00	P.16

4. プロジェクトマネジメント

プロジェクトマネジメント基礎講座 	¥55,000	2日間	8月 6-7日	9:30~17:30	P.17
プロジェクトマネジメント実践 (プロジェクトシミュレーション)講座 	¥71,500	2日間	11月 19-20日	9:30~17:30	P.17
 PMBOK®ガイド入門(第8版対応) 	¥66,000	2日間	9月 3-4日	9:30~17:30	P.18
 PMBOK®ガイド第8版の変更概説 	¥38,500	1日間	9月 2日	9:30~17:30	P.18
トラブル事例や裁判事例よりプロジェクト マネジメントを振り返る 	¥38,500	1日間	10月 26日	9:30~17:30	P.19
DX 時代をリードするプロジェクト・マネー ジャーのためのビジネスアナリシス 	¥38,500	1日間	10月 27日	9:30~17:30	P.19

※PMIはプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc)の登録商標です。また、PMBOK 及び PMP は PMI®の登録商標です。

※プロジェクトマネジメント知識体系ガイドを以下「PMBOK®ガイド」といいます。



今年度新設の講座です。



PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

研修名	受講料 (税込)	日数	開催日	時間	掲載 ページ
5. Office アプリケーション					
Word2024 基礎	¥24,200	2日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.20
Word2024 応用	¥17,600	1日間	ご相談ください	9:30~17:30	P.20
Excel2024 基礎	¥24,200	2日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.20
Excel2024 応用	¥26,400	2日間	ご相談ください	9:30~16:00	P.20
Excel2024 ビジネス活用<<関数編>>	¥26,400	2日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.21
Excel2021 マクロ/VBA 入門	¥40,700	2日間	ご相談ください	9:30~17:00	P.21
PowerPoint2024 基礎	¥13,200	1日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.21
Word & Excel & Power Point 速習	¥28,600	3日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.21
Access2021 基礎	¥28,600	2日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.22
Access2021 応用	¥33,000	2日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.22

◆Microsoft Office のバージョンについて◆

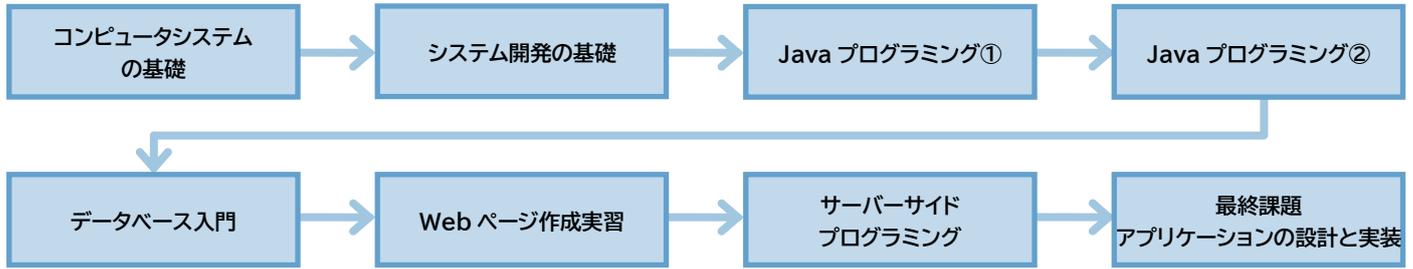
Microsoft Office の研修は **Office2024** のバージョンで実施いたします。
Office2021、2019 等、他のバージョンでの研修をご希望の場合はご相談ください。

◆助成金の活用について◆

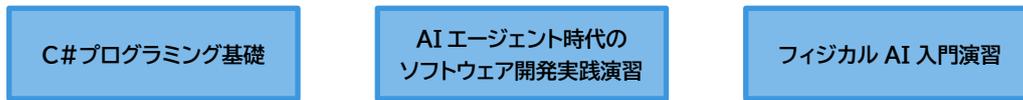
助成金を利用して研修受講を検討されている方はお気軽にご相談ください。

研修コースマップ

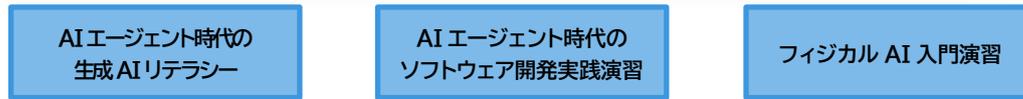
新入社員や IT 技術者としての基礎を学びたい方



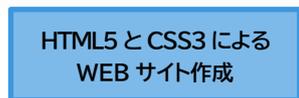
プログラミングやアプリ開発技術を学びたい方



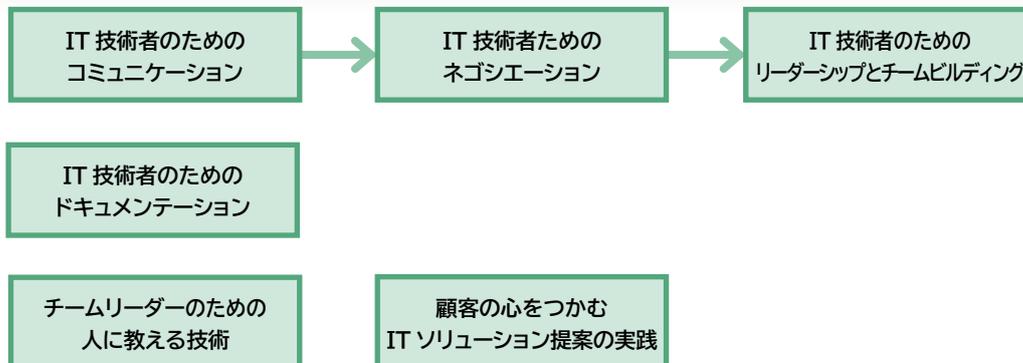
生成 AI に関する知識や業務での活用方法を学びたい方



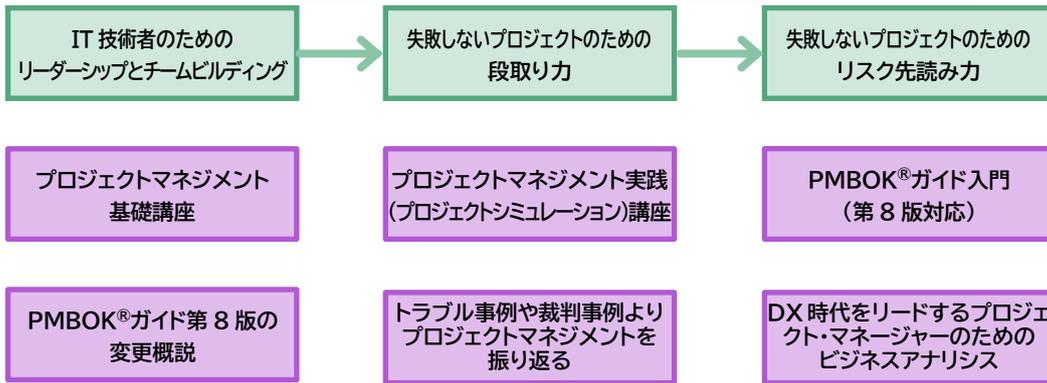
Web に関する技術を学びたい方



IT 技術者に必要なヒューマンスキル・ビジネススキル向上を目指す方



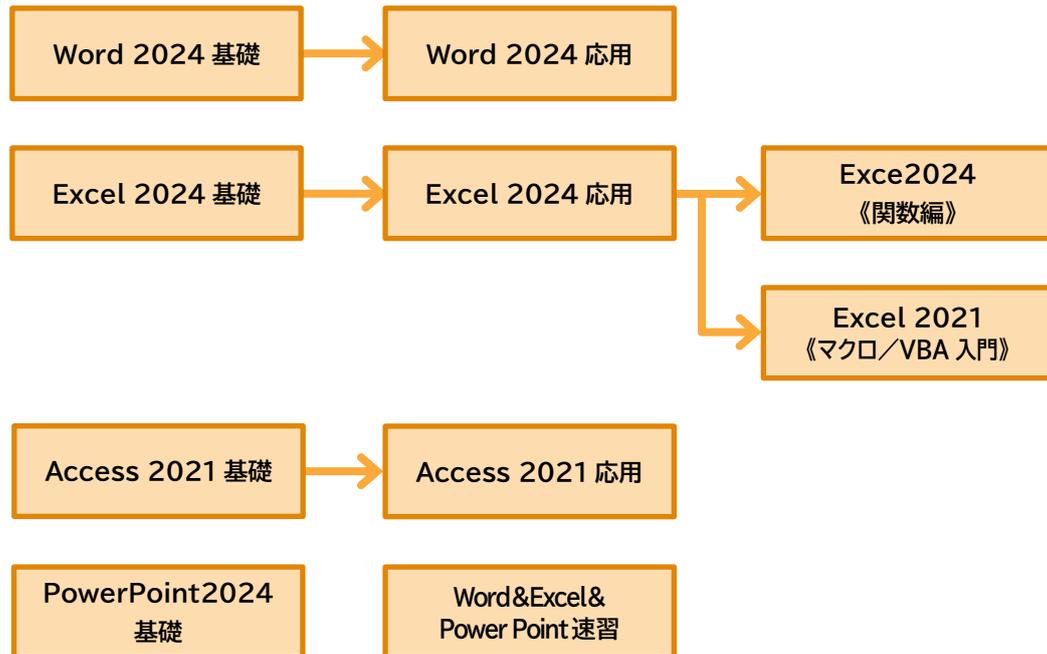
プロジェクトリーダー・マネージャーに必要なスキル向上を目指す方



PMP®資格取得を目指す・PMP®資格維持を図る方



Office アプリケーション



1.新入社員研修

3日間		コンピュータシステムの基礎 ～コンピュータの仕組みを理解しよう～	
<p>身近にあふれるコンピュータの仕組みを丁寧に解説します。人類の英知の結晶としてのコンピュータと、それを支えるコンピュータ科学の一端を知ることができます。内容とレベルは基本情報処理技術者試験のテクノロジ系の一部に準じます。ネットワークの知識にも触れ、この後、web ページやプログラミング言語、データベースを学ぶための前提となる知識を習得します。</p>			
達成目標	1. コンピュータ内で行われるデータ表現と演算を他者に説明できる 2. コンピュータシステムの情報処理の基本的な仕組みを説明できる 3. 目的に応じて基本的なシステム構成について説明することができる		
内容	1. はじめに、コンピュータシステムとは何か？ (1) そもそもシステムとは何か？ (2) コンピュータシステムとは？ (3) システムエンジニアのお仕事 2. ハードウェアの基本 (1) ハードウェアとは (2) CPU (3) メモリ (4) ストレージデバイス (5) 入力デバイス (6) 出力デバイス (7) キャッシュについて 3. データ表現を知る (1) 2進数の知識 (2) ビット演算	4. オペレーティングシステム (1) オペレーティングシステムとは (2) オペレーティングシステムの概要 (3) プロセスとスレッド (4) ファイルシステム 5. ソフトウェアの仕組み (1) ソフトウェアとは (2) ソフトウェアの基本 (3) ソフトウェアのライフサイクル (4) ソフトウェアライセンスの基本 (5) ソフトウェアトラブルシューティング	6. ネットワークにも強くなる (1) コンピュータネットワークとは (2) ネットワークの基本 (3) TCP/IP プロトコルスイートと OSI 参照モデル (4) ネットワークのトラブルシューティング (5) クラウドコンピューティングとネットワーク ◎理解度チェックテスト
日時	4月7日(火)～9日(木) 9:00～17:30		
受講料	¥56,100 (消費税込・教材費込)		
定員	15名		
前提知識	パソコンに触ったことがあること		

3日間		システム開発の基礎 ～システムってなに？どうやって作るの？～	
<p>今後、システム開発を学ぶ新人エンジニアの方に、システム開発の全体像を理解いただきます。内容とレベルは基本情報処理技術者試験のシステム開発技術に相当しますが、この後のプログラミング実習を見据えて、より実践的な内容とします。座学と簡単な演習、理解度チェックテストにより知識の定着を図ります。</p>			
達成目標	1. システム開発の流れについて説明できる 2. オブジェクト指向について説明できる 3. 簡単なアルゴリズムを自分で組むことができる		
内容	1. システム開発とは何か？ (1) システム開発の定義と重要性 (2) システム開発の種類とそれぞれの特性 2. SDLC を知る (1) ソフトウェア開発ライフサイクルの概要 (2) 要件定義 (3) 設計 (4) コーディングとテスト (5) レビュー (6) メンテナンスとシステムの改善 3. UML を理解する (1) UML の基本 (2) UML の基本要素	4. プログラミングの基本を身につける (1) プログラミング言語の選択 (2) 基本的なプログラミング概念 (3) プログラミングパラダイム (4) オブジェクト指向プログラミング 5. アルゴリズムを理解する (1) アルゴリズムの基本概念の解説 (2) 探索アルゴリズム (3) 計算量理論 (4) ソートアルゴリズム	6. テスト技法を知る (1) テスト技法とは (2) 単体テスト (3) 結合テスト (4) システムテスト (5) その他のテスト (6) ホワイトボックステストとブラックボックステスト (7) テスト計画とテストケースの作成 7. 情報セキュリティ技術を学ぶ (1) 情報セキュリティとは？ (2) 情報セキュリティ対策の基本 ◎理解度チェックテスト
日時	4月10日(金)・13日(月)～14日(火) 9:00～17:30		
受講料	¥56,100 (消費税込・教材費込)		
定員	15名		
前提知識	コンピュータシステムの基礎(3日間)に参加していること。または、同等の知識があること。		

◆新入社員研修記載事項に関して◆

受講者の習熟度に合わせて内容や時間配分を一部変更する場合があります。カリキュラム中に表記がなくともディスカッションや演習、小テストを随時行い、可能な限り個人にあわせた柔軟な進め方をします。

5 日間

Java プログラミング① 基礎と実践

～ほとんどのプログラミング言語に共通する基本の基本～

プログラミング初学者を対象に、そもそもプログラムとは何かというところから、基本制御構造(順次・選択・繰り返し)を使って簡単なプログラムを組めるまでを、座学と演習の繰り返しにより学びます。また、オブジェクト指向の入り口、大まかな考え方のところまでを学習します。

達成目標	1. 50～100 ステップ程度のプログラムを自力で作成できる 2. 基本制御構造を適切に使える 3. Oracle Certified Java Programmer, Bronze 資格の前半部分をカバーする		
内容	1. Java 言語を初めて学ぶ新人社員の皆さんへ (1) Java 言語の特徴 (2) Java プログラムの実行 (3) Java プログラムの構成 (4) オブジェクト指向のメリットとデメリット (5) クラスのメンバ(フィールドとメソッド) (6) エラーを恐れない (7) プログラムはメモリにロード後実行される (8) システムに必要な IPO (9) コメントの入れ方 (10) エラーへの対処 (11) 標準出力 2. 変数でデータを再利用する (1) 変数とは (2) 変数の宣言 (3) Java で使用できるプリミティブ型 (4) なぜ、変数を使うのか? (5) 定数を使うとき	(6) char 型は整数であるということ (7) クラスはパッケージに入れて管理する (8) 別パッケージのクラスを呼び出す 3. 演算子でプログラムに計算させる (1) 算術演算子 (2) 変数を含む式 (3) 変数の型と代入の制限 (4) キャスト演算 (5) ArithmeticException (6) 文字列の結合に使用する「+」 4. 条件分岐で場合に応じた処理をする (1) if 文 (2) 関係演算子 (3) if else 文 (4) switch 文 (5) 三項演算子 (6) 論理演算子 (7) 演算子の優先順位	5. 繰り返しで単純作業をこなす (1) while 文 (2) for 文 (3) ユーザー入力を受け付ける (4) ループを中断する break 文 (5) ループを1回スキップする continue 文 (6) ループのネスト (7) do while 文 6. 配列を使い大量データを便利に扱う (1) 配列の使い方 (2) ArrayIndexOutOfBoundsException (3) 参照とハッシュ値 (4) 配列の要素を一度に表示する (5) 拡張 for 文 (6) 2次元配列 (7) 配列とオブジェクト指向 ◎Java プログラミング① 卒業課題
日時	4月15日(水)～17日(金)・20日(月)～21日(火) 9:00～17:30		
受講料	¥93,500 (消費税込・教材費込)		
定員	15名		
前提知識	以下の研修に参加していること。または、同等の知識があること。 ・コンピュータシステムの基礎(3日間) ・システム開発の基礎(3日間)		

8 日間

Java プログラミング② オブジェクト指向

～Java のことは Java に訊け～

プログラミング初学者が、Java を使ってオブジェクト指向とは何かを理解する研修です。Java のソースコードや API の解読に時間をかけますので、進捗はゆっくりですが、その分、基本をしっかりと理解できます。カプセル化や継承、ポリモーフィズムなどの流行り廃りの少ない考え方をお伝えします。

達成目標	1. 複数クラスからなる Java プログラムの設計と実装が自力でできる 2. オブジェクト指向の3大要素の意義を人に説明できる 3. Oracle Certified Java Programmer, Bronze 資格の後半の部分をカバーする		
内容	1. 文字列を扱う (1) 文字と文字列の違い (2) String クラス (3) equals メソッド (4) イミュータブル (5) String クラスの便利なメソッド (6) static メソッド (7) null は何もないことを表現する 2. static メソッドを定義して処理を再利用する (1) メソッドとは (2) 引数のあるメソッド (3) 戻り値のあるメソッド (4) メソッドのオーバーロード (5) メソッドのメリット (6) メソッドの再帰処理 (7) メソッドチェーン (8) static キーワードの意味 3. インスタンスでデータと処理を再利用 (1) オブジェクト指向とは何だったか? (2) フィールドを持ったクラスの定義 (3) メソッドを持ったクラスの定義 (4) インスタンスの生成 (5) 参照型とプリミティブ型 (6) 参照型の配列 (7) NullPointerException	(8) 参照渡しと値渡し (9) メソッドの戻り値に参照を使う (10) コンストラクタでインスタンスの初期化 (11) コンストラクタのオーバーロード (12) インスタンス変数と static 変数 (13) インスタンスメソッドと static メソッド 4. 継承を使ってクラスをグループ化する (1) すべてのクラスのスーパークラス Object (2) 継承(拡張)とは (3) 継承関係で複数のクラスを仲間にする (4) メソッドのオーバーライド(String) (5) メソッドのオーバーライド(自作) (6) オリジナルな equals メソッドの実装 (7) ポリモーフィズムで保守性が高まる (8) toString メソッドで出力 (9) 親クラスの上に子クラスは作られる (10) 継承よりも委譲を選ぶ (11) クラスの責務を考えて設計をする (12) ClassCastException (13) 多重継承の禁止 5. カプセル化と情報隠蔽 (1) カプセル化の意義 (2) データ隠蔽の意義 (3) アクセス修飾子 (4) クラスとインタフェースのアクセス修飾子	(5) final 修飾子とは 6. 例外処理 (1) try～catch 文 (2) finally 句の意義 (3) 複数例外のキャッチ (4) 例外クラスの体系 (5) throws キーワード (6) 例外を呼び出し元に扱って処理を任せる 7. ArrayList で配列を便利に使いこなす (1) ArrayList (2) ジェネリクス (3) ArrayList ではラッパークラスを使う (4) List インタフェース (5) コレクションフレームワーク (6) ConcurrentModificationException 8. 日付/時刻と列挙型 (1) 現在日時取得 (2) 特定の日付の扱い (3) 日付の書式を指定する (4) 時刻の扱い 問題集..JavaSE の問題集 ◎理解度チェックテスト ◎Java プログラミング② 卒業課題
日時	4月23日(木)～24日(金)・27日(月)～28日(火)・30日(木)・5月1日(金)・7日(木)～8日(金) 9:00～17:30		
受講料	¥149,600 (消費税込・教材費込)		
定員	15名		
前提知識	以下の研修に参加していること。または、同等の知識があること。 ・コンピュータシステムの基礎(3日間) ・システム開発の基礎(3日間) ・Java プログラミング① 基礎と実践(5日間)		

2. 一般情報処理技術

2日間		C#プログラミング基礎
<p>統合開発環境 Visual Studio は、Microsoft 社が提供する統合開発環境であり、効率良く Windows アプリを開発することができます。その Visual Studio 上の標準言語とも言える C#は、C を派生させたオブジェクト指向言語の一つであり、人気の高いプログラミング言語の一つです。本研修では、無料で導入可能な Visual Studio Community エディションを用いて様々な簡易アプリを開発し、C#の文法及びオブジェクト指向プログラミングの基本について学習します。</p>		
内 容	<ul style="list-style-type: none">● Visual Studio Community の基本操作● C#の基本文法● C#におけるオブジェクト指向プログラミング● 簡単なアプリケーションを作る (簡易計算アプリ、タイマーアプリ、付箋メモアプリ、占いアプリの作成)● データの処理方法 (簡易家計簿アプリの作成)	
日 時	6月24日(水)～25日(木) 9:30～17:30	
受 講 料	¥55,000 (消費税込・教材費込)	
定 員	15名	
対 象 者	プログラミング経験がある方	

2日間		HTML5 と CSS3 による Web サイト作成
<p>マルチブラウザ、マルチプラットフォームに対応するデジタルコンテンツ作成に欠かせない HTML5 と CSS3 の基礎を学びます。</p>		
内 容	<ul style="list-style-type: none">● HTML5 の基礎知識● CSS3 の基礎知識● Web サイトの構築● トップページ作成● サブページ作成● リンクの設定● Web ページの動作検証● 表を挿入した Web ページ作成● サイドメニューのある Web ページ作成● 動画やマップを挿入した Web ページ作成● フォームを利用した Web ページ作成	
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30～17:00	
受 講 料	¥55,000 (消費税込・教材費込)	
定 員	15名	
対 象 者	特にありません	

1日間

AI エージェント時代の生成 AI リテラシー

急速に進化する生成 AI は、単なる「回答ツール」から、自律的にタスクを遂行する「AI エージェント」へと変貌を遂げています。本研修では、AI の最新動向を網羅し、経験の浅い方から活用中の方まで、AI を「有能なパートナー」として業務に組み込むための実践的な知識を解説します。実演を通じて、複雑な業務を AI に代行させるための指示(インストラクション)設計を具体的に学び、職種別の最新事例を交えて「AI との協働」のイメージを深めます。さらに、AI エージェント特有のリスクや最新の法的・セキュリティ対策を解説し、受講後には最新技術を安全かつ主体的に使いこなし、業務を劇的に自動化できる力を身につけることを目指します。

内 容	<p>1.生成 AI から「AI エージェント」への進化と最新動向 生成 AI の仕組みと「自律型エージェント」への移行 2026 年の主要 AI(ChatGPT, Claude, Gemini 等)の最新機能と使い分け</p> <p>2.エージェントを動かすための「指示(インストラクション)」設計 単なる質問を超えた、業務プロセスを完結させる指示の出し方(実演デモ) AI の推論能力を最大限に引き出し、精度の高い成果物を得るためのコツ</p> <p>3.部門・職種別の AI エージェント活用シナリオ 総務・人事・営業等における「AI による定型業務の自動代行」メリット 情報収集から資料作成、メール対応等までを一気通貫で自動化する実例</p> <p>4.2026年版・情報セキュリティと法的リスクへの対応 AI エージェント利用時の機密情報保護と、最新の社内ガイドライン策定 著作権・個人情報の取り扱いと、AI の判断ミス(ハルシネーション)を防ぐ「人間の介在」</p>
日 時	7月16日(木) 9:30~16:30
受 講 料	¥22,000 (消費税込・教材費込)
定 員	15 名
対 象 者	生成 AI を活用して業務効率を高めたい方


 2 日間

フィジカル AI 入門演習

本研修は、NVIDIA Isaac SIM および Isaac Lab を活用し、クラウド環境において最先端の物理シミュレーション技術と強化学習を用いたロボット制御方法を実践的に学ぶプログラムです。参加者は、シミュレーション環境でのロボット動作設計から、機械学習による自動制御の実装まで、一連のワークフローを習得します。

内 容	<p>1. フィジカル AI の基礎知識と動向</p> <p>2. 物理シミュレーション環境の構築と基本操作</p> <p>3. 物理モデルを用いた挙動理解</p> <p>4. モデルの作成とシミュレーション実行</p> <p>5. 強化学習の基礎</p> <p>6. 強化学習によるロボット制御のシミュレーション</p> <p>7. 実践的なシナリオでの応用演習</p>
日 時	10月6日(火)~7日(水) 9:30~17:30
受 講 料	¥66,000 (消費税込・教材費込)
定 員	15 名
対 象 者	<p>AI・機械学習に関心のある技術者・エンジニア</p> <p>ロボット制御・自動化システムの開発に携わる方</p> <p>強化学習の実装スキルを身に付けたい方</p> <p>クラウド環境でのシミュレーション技術に興味のある方</p>

2 日間

AI エージェント時代のソフトウェア開発実践演習

2024 年の大規模言語モデル(LLM)の推論能力向上とコンテキストサイズの拡大により、生成 AI はプロジェクト全体の構造や依存関係を包括的に把握可能になりました。ドキュメント作成、コード生成、テスト自動化が連携し、生産性と品質が大きく向上する基盤が整いつつあります。一方で、品質管理、セキュリティ対策、法的・倫理的課題への対応が不可欠です。本研修では、Cursor などの最新コーディングツールを活用し、AI エージェント時代の実践的ソフトウェア開発スキルを習得します。

内 容	1.AI エージェント時代への理解と LLM の進化 2.次世代型開発支援ツールの機能と特徴 3.AI を活用したドキュメント駆動開発 4.プロジェクト全体を統合したコード生成と最適化モジュール 5.AI によるテスト自動化と品質保証モジュール 6.セキュリティとコンプライアンスの自動化モジュール 7.AI エージェントと開発プロセスの統合 8.実践プロジェクト演習
日 時	11月11日(水)~12日(木) 9:30~17:30
受 講 料	¥55,000 (消費税込・教材費込)
定 員	15 名
対 象 者	ソフトウェア開発者・プログラマー 生成 AI ツールの実務導入を目指すエンジニア 開発生産性向上に関心のある技術リーダー セキュリティと AI 活用を両立させたい方

3. ヒューマンスキル

2 日間		IT 技術者のためのコミュニケーション ～「論理と直感」で「伝わる」意思疎通の技法～	
IT 技術者に必要不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル等のスキルを理論と実践を通じて身につける研修です。各種チャレンジやプレゼンコンテスト、等により参加者の方々と交流でき、楽しく身につけることができます。講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。			
内 容	【1日目】 ◎コミュニケーションとは ・コミュニケーションとは人間関係の構築と意思疎通 ・なぜ、コミュニケーションが重要か？ ・論理性とコミュニケーション 1. 人間関係の構築 (1) 人付き合いが上手な人は何が違う？ (2) お願いの仕方 7か条 (3) 7つのクッション言葉 2. 誰でもできる、ロジカルシンキング (1) ロジカルの4ステップ ・個人ワーク / G内発表とフィードバック 3. より強固なロジカルシンキング (1) Why so? So What? (2) MECE (3) ストーリー性 4. プレゼンテーション (1) なぜ、プレゼンが必要か？ (2) プレゼンテーションの3Cとは？ (3) 論理的なプレゼン	【2日目】 5. プレゼンテーションの導入 (1) 自己紹介でつかむ (2) ○値法でつかむ (3) クイズ法でつかむ 6. プレゼンテーションの本論 (1) 説明型 (2) 主張型 (3) 提案型 7. 実践、プレゼンテーション企画 ・実際の仕事を題材にして、プレゼンテーションプランを練る / ドキュメント作成 / リハーサルと相互フィードバック 8. プレゼンテーションの実践 ・個別発表 / 講師コメント ◎総まとめ ・自己成長のための指針	
日 時	7月9日(木)～10日(金) 9:30～17:00		
受 講 料	¥55,000 (消費税込・教材費込)		
定 員	16名		
対 象 者	業務上意思疎通の力を必要としている方 ※研修参加にあたり、「自社やお客様に提案したいこと」について前もって考えておいてください。書き出させていただく演習があります。		

2 日間		IT 技術者のためのドキュメンテーション ～読む人の「なるほど」を引き出すドキュメント作成術～	
IT 技術者に必要不可欠な文書表現、ドキュメント作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。ドキュメンテーション実習を個人ワークだけでなくグループワークで実施することにより、他の参加者と交流しながら、楽しく身につけることができます。講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより、自己のドキュメントの欠点が把握でき、改善の方策を自ら見いだしていける内容です。			
内 容	【1日目】 1. IT 業界のドキュメントの大切さ (1) システム開発におけるドキュメントの役割 ・仕様か欠陥か ・常識か非常識か ・プロジェクトの主な失敗 (2) IT 現場におけるドキュメントの種類 (3) 分かりづらいドキュメントとは？ 2. ドキュメントの作成手順 (1) 記載事項の抽出 ・情報の洗い出し ・情報どうしの関係の整理 (2) ドキュメントの構成 ・IT 技術文書の典型的な構成 ・論理性を高める構成 (3) ドキュメントの表現	【2日目】 3. ドキュメントの表現 (1) 日本語に特有の問題と解決策 ・文字種をバランスさせる ・接続詞で文の関連を表現する ・主語述語の係り受けを明確化する ・文末を統一する ・言葉を正しく使い分ける (2) 文章のポイント(議事録、報告書、メールなど) 4. ドキュメント作成 ・個人ワーク / ペアレビュー / 講師フィードバック ◎総まとめ ・自己成長のための指針	
日 時	7月23日(木)～24日(金) 9:30～17:00		
受 講 料	¥55,000 (消費税込・教材費込)		
定 員	16名		
対 象 者	入社3年目以内程度の若手 IT 技術者 その他の業界にお勤めで DX 推進のために文章力を必要としている方		
そ の 他	※本講座では、以下のような報告書等の文書作成の演習を行うため、事前に文章化するテーマを1つ考えておいてください。 【テーマの例】 ・企画書 (例、スマホアプリの企画) ・報告書 (例、セキュリティ対策実施状況報告) ・提案書 (例、タブレット端末導入のご提案)		

3日間

IT 技術者のためのネゴシエーション ～社内・社外交渉を Win-Win にするために～

業務で経験する実際の交渉事例(クレーム対応、トラブル対応、新たな受注チャンスを見つけ、提案や営業活動につなぐなど)を元に、ネゴシエーションスキルを理論と実践により身につけます。
実際の事例を使ったネゴシエーションゲームやロールプレイにより他の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。

内 容	【1日目】 ◎ネゴシエーションとは ・IT 業界とネゴシエーション ・IT スキル標準におけるネゴシエーションの位置づけ 1. ネゴシエーションにおける 3 類型 (1) セルフチェックテスト (2) 交渉ゲームによる確認 (3) 交渉を好きになるには？ 2. ネゴシエーションの基本 (1) ネゴシエーションで最も重要なこと (2) ネゴシエーションの 5 プロセス (3) 論理と心理の活用 (4) 逆提案と妥協のスキル 3. 交渉を問題解決に変えるには？ ・ロールプレイ 4. パイをふくらませる交渉とは？ ・個人ワーク / グループワーク / 発表 / 解説・振り返り	【2日目】 5. 事例研究Ⅰ 1対1のケース ～仕様変更、クレームの対処等 ユーザーの立場からのロールプレイ～ ・個人ワーク / グループワーク / ロールプレイ(3～4 回繰り返し) / 解説・振り返り 6. 事例研究Ⅱ 1対1のケース ～仕様変更、クレームの対処等 ベンダーの立場からのロールプレイ～ ・個人ワーク / グループワーク / ロールプレイ(3～4 回繰り返し) / 解説・振り返り	【3日目】 7. 事例研究Ⅲ 多対多のケース ～人員要求、退職引き留めなど対社内事例～ ・個人ワーク / グループワーク / ロールプレイ(3～4 回繰り返し) / 解説・振り返り 8. 応酬話法 (1) 承諾に関する心理 (2) 応酬話法集の作成 ・個人ワーク / グループワーク / 発表 / 過去事例の紹介 ◎総まとめ ・自己成長のための指針 ～自己の強みを生かした交渉のあり方～
日 時	9月14日(月)～16日(水) 9:30～17:30(最終日は 17:00 まで)		
受 講 料	¥82,500 (消費税込・教材費込)		
定 員	16 名		
対 象 者	IT 業界にお勤めで、業務上交渉力・提案力を必要としている方、今後必要とされる方 その他の業界にお勤めで DX 推進のために交渉力・提案力を必要としている方、今後必要とされる方		
前 提 知 識	「IT 技術者のためのコミュニケーション」を受講していることが望ましい		
そ の 他	※研修参加にあたり受講者は、「過去にお仕事で経験した最も大変だった交渉経験」について前もって考えておくようにして下さい。 研修当日書き出さしていただく演習があります。		

3日間

IT 技術者のためのリーダーシップとチームビルディング ～部下育成、動機付け、方針提示について学ぶ～

IT 人材に必要なチームビルディングのスキル(すなわち、褒める、叱る、からモチベーション・マネジメント、アンガーマネジメント、リーダーシップとフォローアップシブ、報・連・相まで)を理論と実体験を元に学びます。
自分自身の振り返りはもちろんのこと、他者や講師からのフィードバックにより、自分の現在位置が分かり、さらなる成長のためのテーマが分かります。

内 容	【1日目】 1. リーダーシップとは (1) 3 つのキーワードで理解するリーダーシップ (2) ビジョンの提示 (3) 人々の力を引き出す (4) 変革の具現化 2. 部下・後輩育成のためのコーチング (1) 6 つの質問の使い分け (2) コーチングの 4 つのコツ (3) コーチングとティーチングの使い分け (4) より信頼関係を深める心がけ 3. コーチングロールプレイ 1 回目 (1) 目標の明確化とは？ (2) 問題を認識するには？ (3) 創造的な解決策の創出には？ (4) アクションプランの与え方 4. 自己のリーダーシップスタイルを知る (1) リーダーシップ、マネジメント発揮度判定演習 5. 話し合いにおける影響力の発揮 (1) 会議とは (2) ファシリテーションとは	【2日目】 6. リーダーシップとマネジメントの違い (1) 自己のリーダーシップ、マネジメント発揮度判定演習 7. チームビルディングとは (1) チームの成長の理論と動機づけ 8. 褒める (1) あなたはなぜ褒めないのか？ (2) 良い褒め方 8 箇条+α (3) ホメホメゲーム 9. 叱る (1) 「叱る」と「怒る」はどう違う？ (2) 怒られすぎると人は・・・ (3) アンガーマネジメント (4) 叱り方 NG7 箇条 (5) 良い叱り方 3 ステップ (6) 謝り方	【3日目】 10. 総合演習 ・チーム形成ゲーム ・受講者からのフィードバック ・講師コメント 11. ビジョンの策定 (1) 具体的なビジョンとは (2) SWOT 分析とは (3) ビジョン策定演習 12. 変革の具現化 (1) 具体的なアクションを起こす 13. コーチングロールプレイ 2 回目 (1) 作成した具体的な行動により目標設定 (2) 目標の明確化とは？ (3) 問題を認識するには？ (4) 創造的な解決策の創出には？ (5) アクションプランの与え方 ◎総まとめ ・自己成長のための指針 ～自己の強みを生かしたリーダーシップのあり方～
日 時	10月14日(水)～16日(金) 9:30～17:30(最終日は 17:00 まで)		
受 講 料	¥82,500 (消費税込・教材費込)		
定 員	16 名		
対 象 者	業務上、リーダーシップを必要としている方、今後必要とされる方		

3日間

失敗しないプロジェクトのための段取り力 ～プロジェクト計画の立て方を学ぶ～

PDU

成功率『52.8%』といわれている日本の IT プロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？

本研修では、その答えの一つとして『段取り力』を取り上げます。

PMBOK®も参考にしつつ IT プロジェクト特有のテーマを重点的に解説することで、プロジェクト・マネージャーとしての基本を学びます。同時に、研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。

内 容	【1日目】	【2日目】	【3日目】
	1.プロジェクトマネジメントとは？ 2.日本人の得意な段取りについて 3.PMBOK®第 6 版の解説 (1)「10の知識エリア」の実例 (2)なぜ、プロジェクトは失敗するのか？ 4.プロジェクトの目的と目標 (1)各プロジェクト発表 5.段階的詳細化について (1)WBSとは (2)WBS作成演習 (3)他者に仕事を割り当てるときの極意 6.ネットワーク図の作成 (1)納期短縮法 (2)バッファの扱い方 (3)資源平準化 7.リスク・マネジメント (1)2種類のリスク (2)どのリスクを対策すべきか？ (3)リスクを見込んでさらに強い計画を立てる	8.PMBOK®第 7 版の解説 9.なぜ、いまアジャイルなのか？ 10.スクラムとは？ 11.スクラムの基本 ・自動車販売サイト(プロトタイプ)を例にスクラムの進め方を解説 (1)役割 (2)イベント (3)成果物 12.スクラム開発の流れ ・ゲーム形式の演習を通じてスプリントを3回繰り返します。 (1)チームビルディングエクササイズ (2)ターゲットユーザーの理解 (3)プロダクトゴールの設定 (4)ユーザーストーリー (5)タスクボードを使った見える化 (6)レトロスペクティブ	13. ケース演習 (1) プロジェクト憲章作成 (2) WBS の作成 (3) リスク・マネジメント (4) ネットワーク図の作成 ・個人演習 / 全体発表と講師講評 14. 今回のプロジェクトの教訓 ・個人演習 / 全体発表と講師講評 15. 個人で今日からできる段取り力向上のための「5つの習慣」 ◎総まとめ
日 時	9月9日(水)～11日(金) 9:30～17:30(最終日は 17:00 まで)		
受 講 料	¥82,500 (消費税込・教材費込)		
定 員	16名		
対 象 者	現在 IT プロジェクトにメンバー又はマネージャーとして携わっている方、今後予定されている方		
前 提 知 識	IT プロジェクト参加経験 3 年以上 (※本研修では主として「立上げ」と「計画」プロセス群を扱います。「実行」～「監視・コントロール」プロセス群は「失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力」を受講下さい。)		

3日間

失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力

PDU

成功率『52.8%』といわれている日本の IT プロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？本研修では、その答えの一つとして『リスク・マネジメント』を取り上げます。実例に極めて近いケースを用い、カードやサイコロを使いゲーム形式で楽しく学んでいただける内容です。

また、研修参加者にはファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。

内 容	【1日目】	【2日目】	【3日目】
	1. プロジェクトマネジメントとは 2. ファシリテーションとは (1) ファシリテーションの2つの目的 (2) みんなの意見は案外正しい 3. 日本人の苦手なリスク・マネジメント (1) なぜ、日本人はリスク音痴(?)に？ (2) リスクを取らないとどうなるか？ 4. EVM によるコントロール (1) 成功の鍵は定量管理 (2) 基本用語と計算方法の確認 (3) 練習問題 (4) 将来予測による先読み 5. リスク・マネジメントとは？ (1) リスクとは？ (2) リスク管理の4ステップ (3) リスクの優先順位付け (4) 2つのリスク対策	6. 情報セキュリティリスクについて (1) 情報セキュリティの概要 (2) 情報セキュリティの3要素 (3) ISMS と PDCA サイクル (4) セキュリティポリシー (5) 情報セキュリティ対策の導入と運用 7. 情報セキュリティリスク・マネジメント (1) 情報の分類と管理 (2) リスク評価 8. リスク・マネジメントゲーム (1) 要求定義フェーズ (2) 結合テストフェーズ ・個人 / グループ演習 ・全体発表と講師講評	9. リスク登録簿を持ち帰る① (1) リスク登録簿の作成 ・プロジェクト目標・前提と制約条件 ・WBS 簡易版・個人/グループ演習 ・全体発表と講師講評 10. リスク登録簿を持ち帰る② (1) リスク登録簿の作成 ・プロジェクト目標・前提と制約条件 ・WBS 簡易版・個人/グループ演習 ・全体発表と講師講評 11. 先読み力向上「5つの習慣」 ◎総まとめ ・自己成長のための指針
日 時	10月19日(月)～21日(水) 9:30～17:30(最終日は 17:00 まで)		
受 講 料	¥82,500 (消費税込・教材費込)		
定 員	16名		
対 象 者	現在 IT プロジェクトにメンバー又はマネージャーとして携わっている方、今後予定されている方		
前 提 知 識	IT プロジェクトに参加した経験 5 年以上 (※本研修では主として「実行」～「監視・コントロール」プロセス群を扱います。「立上げ」と「計画」プロセス群は「失敗しないプロジェクトのための段取り力」を受講下さい。)		

2日間

チームリーダーのための人に教える技術 ～自分で考えて動ける人材を育てる～

IT プロジェクトを成功に導くためには「自分で考えて動けるメンバー」が必須になっているといえます。そのためにコーチングなどの手法による「気付き」を重視する場面が増えています。

ただし、わからないことだらけの新人や、仕事がうまくこなせていないメンバーには、コーチングとともに、きめ細かく丁寧に教えるティーチングも必要になります。

つまり、「気づき」の元となる「知識」は教える必要があり、そのうえで、学ぶ意欲を高める「教え方」をすることが大切です。

この研修では IT プロジェクトを成功に導くための「自分で考えて動けるメンバー」を育てる「教え方」を様々な角度から学びます

内 容	【1日目】	【2日目】
	<ol style="list-style-type: none"> 「教える」とはということ？ <ol style="list-style-type: none"> 「教える」とはということ？ 「教える」ときに発生する障害とは 「教える」ために学ぶこと 教える前に行うべき準備とは <ol style="list-style-type: none"> 相手に教える前準備の「質問」 自分を知り、相手を知って教える 「知識を教える技術」を考える <ol style="list-style-type: none"> 「教え方」についての誤解 教え上手な「指示」の出し方 基本的な学習モデルについて 上手な「知識の教え方」を知る <ol style="list-style-type: none"> 仕事の全体像とつながりを見せる 相手に「正確」に伝える 知識を定着させる教え方 	<ol style="list-style-type: none"> 「ちゃんとやりなさい」から抜け出す <ol style="list-style-type: none"> 一方的に話しては相手は納得できない なぜ、何を学ぶのが曖昧では動けない 尊重の気持ちなしでは相手に届かない 「意欲(モチベーション)」とは何か？ <ol style="list-style-type: none"> モチベーションとは何か モチベーションに関する理論 メンバーのモチベーションを上げるには 意欲を引き出す教え方とは <ol style="list-style-type: none"> 学ぶ場を楽しいと感じる雰囲気づくり 教える人の心構えと意識 目標の達成をサポートする メンバーの「行動」を変化させる教え方 相手の癖や性格で教え方に变化 場面別のメンバーの教え方 <p>◎総まとめ</p>
日 時	10月29日(木)～30日(金) 9:30～17:00	
受 講 料	¥55,000 (消費税込・教材費込)	
定 員	16名	
対 象 者	「自分で考えて動ける人材」の育成を必要とする方	

2日間

顧客の心をつかむ IT ソリューション提案の実践

顧客の真のニーズを見つけ出し、顧客の心をつかむ IT ソリューションを提示する方法を学習します。

「顧客に関する情報収集の仕方」、「顧客との接触の仕方」、「顧客ニーズの引き出し方」、「顧客が真に望む解決案の提示」といったスキルを習得します。

仮説・検証提案一連のプロセスを知り、顧客が真に望むソリューションを提示するノウハウを身に付けます。

また、IT ソリューション提案の各場面(自社分析、顧客分析、ヒアリング項目抽出、提案書作成など)で役立つ生成 AI の活用方法もお伝えします。

(提案書を作成する研修ではありません。)

内 容	【1日目】	【2日目】
	<ol style="list-style-type: none"> IT 提案で考えるポイント <ol style="list-style-type: none"> IT 提案とは IT 提案のスタイル 仮説検証型提案のアプローチの全体像 <ol style="list-style-type: none"> 提案の付加価値を高める 付加価値を高める提案アプローチ 【アプローチ①】提案活動のキッカケ <ol style="list-style-type: none"> キッカケにいかにかにアンテナをはるか RFP から提案を作るには 【アプローチ②】顧客情報の収集・分析 <ol style="list-style-type: none"> 情報収集の方向性 顧客情報の収集 収集した情報を分析する よくある情報化の課題を知る 【アプローチ③】仮説を立てる <ol style="list-style-type: none"> SWOT 分析から仮説を導き出す 収集と発散で仮説を作る 仮説構築実習 <p>事例問題に従い、RFP 等から情報を収集し、提案の仮説を構築する</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 【アプローチ④】顧客訪問 <ol style="list-style-type: none"> ヒアリングに関する準備 ヒアリングの実施手順 コミュニケーションを考える 【アプローチ⑤】顧客ニーズの確定 <ol style="list-style-type: none"> ヒアリング結果で仮説を検証 経営を変える情報活用手法 論理的に話を組み立てる 【アプローチ⑥】提案骨子の作成 <ol style="list-style-type: none"> 提案骨子で決めること 提案書の作成へ 提案骨子作成演習 <p>◎総まとめ</p>
日 時	11月26日(木)～27日(金) 9:30～17:00	
受 講 料	¥55,000 (消費税込・教材費込)	
定 員	16名	
対 象 者	顧客へ IT 提案を行う方、社内への情報化企画を考える方	

4.プロジェクトマネジメント

2 日間		プロジェクトマネジメント基礎講座 ～デジタル時代のプロジェクトマネジメントのあり方を再考する～		PDU
これまでプロジェクトにメンバーの立場で参加されてきた方が、今後、責任ある立場でプロジェクトを遂行するうえで必要となる知識、 ・IT開発業務プロジェクト活動において何をすべきか ・基本用語 ・基本行動 について、演習を交えて学びます。 すでにプロジェクトマネジメントを学んだ方々にも、改めて生成 AI も活用も視野にいたれた「デジタル時代」の多様な考え方をご理解いただける内容です。				
内 容	【1日目】 1. オリエンテーション 生成 AI を活用する「デジタルの時代」とは 2. プロジェクトとは 3. プロジェクトの全体像 ・モダンプロジェクトマネジメントと PM 動向 4. IT プロジェクトのマネジメントプロセス概要 5. プロジェクトメンバーの役割と責任 6. プロジェクト計画(演習)計画の立案 (WBS-スケジュールができるまで)	【2日目】 6. プロジェクト計画(続き) ・リスクという考え方-何のためにリスクへの準備をするのか 7. プロジェクト実行・コントロール ・進捗管理プロセス/変更管理プロセス ・問題課題/リスク管理プロセス ・コミュニケーション管理プロセス ・構成管理(文書管理含む)プロセス ・気づき力・行動する力 8. リスク分析(ワークショップ) 9. プロジェクト終結 ・学んだ教訓 ・振り返り		
日 時	8月6日(木)～7日(金) 9:30～17:30			
受 講 料	¥55,000 (消費税込・教材費込)			
定 員	12 名			
前 提 知 識	特になし			
対 象 者	・プロジェクトメンバーとしてプロジェクトへ参加した経験がある方 ・今後、リーダー、マネージャーとしてプロジェクトを遂行する立場になる方			

2 日間		プロジェクトマネジメント実践(プロジェクトシミュレーション)講座 ～チームマネジメントの傾向・弱点の発見と問題発見・分析力強化を図る～		PDU
臨場感溢れたプロジェクト・シミュレーションソフト(OnTrack)を用いて、総合的な PM あるいはリーダーとしての判断力・統率力を高めます。 プロジェクトの実行と監視・コントロールをシミュレーションソフトによって体験学習します。ここでは、研修だから許される「失敗」(および「成功」)があります。シミュレーション結果を振り返ることで、失敗からの学びができます。これを現場に置き換えて考えることにより、気づきの質を高めることができます。				
内 容	【1日目】 1. PM 知識の整理 2. 計画 3. シミュレーション(前半) 4. 結果報告	【2日目】 5. 決定事項振り返り(1) 6. 個人振り返り 7. 再計画 8. シミュレーション(後半) 9. 結果報告 10. 決定事項振り返り(2) 11. 個人振り返り 12. 全体振り返りと整理		
日 時	11月19日(木)～20日(金) 9:30～17:30			
受 講 料	¥71,500 (消費税込・教材費込)			
定 員	12 名			
前 提 知 識	特になし			
対 象 者	・プロジェクトメンバーとしてプロジェクトへ参加した経験がある方 ・今後、リーダー、マネージャーとしてプロジェクトを遂行する立場になる方			

NEW

2日間

PMBOK®ガイド入門(第8版対応)

～リーダーやPMとなるための基礎用語・基礎知識を習得する!～

PDU

プロジェクトマネジメントの基礎用語や考え方を学ぶ講座です。
PMP®資格を取得するための第一歩となる内容でもあります。

内 容	【1日目】プロジェクトマネジメント標準 ・序論 ・価値を提供するシステム ・プロジェクトマネジメント原則 ・プロジェクトのライフサイクル	【2日目】PMBOK®ガイド ・序論 ・パフォーマンス領域 ・テーラリング ・インプットとアウトプット ・ツールと技法 ◎振り返りとまとめ
日 時	9月3日(木)～4日(金) 9:30～17:30	
受 講 料	¥66,000 (消費税込・教材費込)	
定 員	12名	
前 提 知 識	・情報システムの開発プロジェクトに参加経験があること。 ・システム開発に関するごく一般的な基礎知識を持っていること。	
対 象 者	・プロジェクト・マネージャーあるいはプロジェクトリーダーとしてプロジェクトマネジメントを行おうとする方、あるいは知識を整理したい方 ・プロジェクトメンバーとしてプロジェクトの運営に貢献しようとする方 ・PMP®資格取得を目指す方	
備 考	・教材として PMBOK®ガイド第8版を配布します。	

NEW

1日間

PMBOK®ガイド第8版の変更概説

～変化の潮流を把握する～

PDU

2025年に改訂されたPMBOK®ガイド第8版は、第7版から以下のように大きく変更されています。

- ・3つのマインドセットの導入
- ・6つの原理・原則に簡素化、パフォーマンス領域との関連を明確化
- ・7つのパフォーマンス領域を従来の知識エリアに相当する位置付けに変更
- ・5つのプロセス群を「フォーカスエリア」として再導入
- ・プロセスの再統合

本研修では第8版での改訂の内容、その背景への理解を深め、プロジェクトマネジメントの変化の潮流の把握を図ります。

内 容	・プロセス指向(第6版まで) ・原理・原則指向(第7版) ・第8版での改訂内容 ・プロジェクトマネジメント標準の概要 ・PMBOK®ガイドの概要 *振り返りとまとめ
日 時	9月2日(水) 9:30～17:30
受 講 料	¥38,500 (消費税込・教材費込)
定 員	12名
前 提 知 識	PMBOK®ガイド第7版までのいずれかの版の知識があること。
対 象 者	変化に対応するためにプロジェクトマネジメントの動向を知りたい方(PMP®資格保有者の方も含む)
備 考	Project Management Professional (PMP)® の資格維持・更新のための7PDUsを取得できます。

NEW

1 日間

トラブル事例や裁判事例よりプロジェクトマネジメントを振り返る ～プロジェクトマネジメント義務違反で訴えられないために～

PDU

プロジェクトの現場では同じようなトラブルが繰り返されています。このようなトラブルを削減するためには、トラブル事例を分析し多くの教訓を得なければなりません。また、最近の多くの IT 訴訟における裁判事例では「プロジェクトマネジメント義務違反」が争点になるなど、プロジェクトマネジメントの義務範囲も変化・拡張してきています。

本研修は、トラブル事例や裁判事例を分析することにより、教科書的な理想論ではなく、実務的な新たな気づきと今後のあるべきマネジメントを学ぶ研修です。

内 容	1. トラブル事例(契約、品質など)より学ぶ(分析、討議、講義) 2. IT 訴訟における裁判事例(プロジェクトマネジメント義務違反)より学ぶ(分析、討議、講義) 3. 振り返りとまとめ ※質問や討議を適宜取り入れて進めていきます。(考えることを重視します。)
日 時	10月26日(月) 9:30～17:30
受 講 料	¥38,500 (消費税込・教材費込)
定 員	12 名
前 提 知 識	プロジェクト経験者
対 象 者	事例からマネジメントのあるべき姿を身につけたい方 変化に対応するために今後のマネジメントの傾向を知りたい方
備 考	Project Management Professional (PMP) [®] の資格維持・更新のための 7PDU を取得できます。

NEW

1 日間

DX 時代をリードするプロジェクト・マネージャーのためのビジネスアナリシス ～BA 的視点を持ち戦略的な価値実現に貢献するプロジェクト・マネージャーになる～

PDU

DX が進む中、新たなビジネス・モデルを展開する新規参入企業により、ビジネス環境が大きく変化しています。

変化の激しいビジネス環境のなか、企業が生き残るためには DX 人材の活躍が必須です。DX 戦略実現のためには経営者、事業部門、IT 部門が密接に連携をとり迅速に戦略的な開発を進めなければなりません。プロジェクト・マネージャーや IT 人材の仕事も、より上流へシフトし、新たなビジネス・モデルを検討するスキルが必須になってきています。

当研修では、DX 時代をリードするプロジェクト・マネージャー(IT 人材)として無くてはならない存在になるためのスキルを、グループ討議、講義と演習により身につけます。演習では、事業環境や関係者の視点を踏まえ、「このプロジェクトで、誰に、どのような価値を、どのような仕組みで提供しようとしているのか」を一つの全体像として整理します。

内 容	1. DX の理解 ・DX を実現するために ・DX 時代に求められる IT 人材(PM、SE、BA) 2. 演習: ビジネスアナリシスの「戦略アナリシス」を理解する ・BACCM(ビジネスアナリシス・コア・コンセプト・モデル) ・外部環境の理解(マクロ環境、ミクロ環境) ・内部環境の理解 ・事業パーパスの重要性 ・ビジネス・モデルとは(知の進化、知の探索) ・ビジネス・モデル・キャンパス(BMC) ・カスタマー・ジャーニー・マップ 3. 振り返りとまとめ ※質問や討議を適宜取り入れて進めていきます。(考えることを重視します。)
日 時	10月27日(火) 9:30～17:30
受 講 料	¥38,500 (消費税込・教材費込)
定 員	12 名
前 提 知 識	プロジェクト経験者
対 象 者	DX 時代をリードする IT 人材(PM、SE、BA)として活躍したい方(営業担当者の方もどうぞご参加ください)
備 考	Project Management Professional (PMP) [®] の資格維持・更新のための 7PDU を取得できます。

5.Office アプリケーション

◆Microsoft Office のバージョンについて◆

Microsoft Office の研修は Office2024 のバージョンで実施いたします。
Office2021 等、他のバージョンでの実施も可能ですので、お気軽にご相談ください。

2 日間

Word 2024 基礎

基本的な文書の作成・編集方法を学びます。
文書の作成、編集、印刷などの基本操作をはじめ、表の作成、書式の設定、イラストや効果文字を盛り込んだ文書の作成などを実習します。

- | | |
|-------|---|
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none">●Word の基本操作●文書の作成●文書の印刷●表の作成●文書の編集●表現力をアップする機能 |
| 日 時 | 日程についてはご相談ください
研修時間 9:30~16:30 |
| 受講料 | ¥24,200 (消費税込・教材費込) |
| 定 員 | 10 名 |
| 対 象 者 | マウス操作、日本語入力のできる方 |

1 日間

Word 2024 応用

図形や図表、写真などにさまざまな効果を付けた文書の作成や差し込み印刷、スタイルを利用して見栄えのする長文に仕上げる方法、コメント・変更履歴などを使って文書を校閲する方法など、応用的かつ実用的な機能を実習します。

- | | |
|-------|--|
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none">●図形や図表を使った文書の作成●写真を使った文書の作成●差し込み印刷●長文の作成●文書の校閲●Excel データを利用した文書の作成●便利な機能 |
| 日 時 | 日程についてはご相談ください
研修時間 9:30~17:30 |
| 受講料 | ¥17,600 (消費税込・教材費込) |
| 定 員 | 10 名 |
| 対 象 者 | 「Word 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方 |

2 日間

Excel 2024 基礎

表の作成や編集、関数を使った計算処理、グラフの作成、印刷などの基本操作をはじめ、複数シートの操作、データの並べ替え・抽出などの機能を実習します。

- | | |
|-------|--|
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none">●Excel の基本操作●データの入力●表の作成●数式の入力●複数シートの操作●表の印刷●グラフの作成●データベースの利用 |
| 日 時 | 日程についてはご相談ください
研修時間 9:30~16:30 |
| 受講料 | ¥24,200 (消費税込・教材費込) |
| 定 員 | 10 名 |
| 対 象 者 | マウス操作、日本語入力がスムーズにできる方 |

2 日間

Excel 2024 応用

関数を使った計算やグラフィックの作成、ピボットテーブル・ピボットグラフの作成、マクロ機能など、応用的かつ実用的な機能を実習します。

- | | |
|-------|---|
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none">●関数の利用●表作成の活用●グラフ・グラフィックの活用●データベースの活用●ピボットテーブルとピボットグラフの作成●マクロの作成●便利な機能(検索・置換、最終版など) |
| 日 時 | 日程についてはご相談ください
研修時間 9:30~16:00 |
| 受講料 | ¥26,400 (消費税込・教材費込) |
| 定 員 | 10 名 |
| 対 象 者 | 「Excel 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方 |

2日間 **Excel2024**
ビジネス活用《関数編》

請求書の作成、売上データの集計・分析、顧客データの表記を統一する、従業員データを多角的に統計するなど、ビジネス事例を想定し、約60個の関数を実習します。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●関数の基本 ●請求書の作成 ●売上データの集計 ●顧客住所録の作成 ●社員情報の統計 ●賃金計算書の作成 ●出張旅費伝票の作成
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~16:30
受講料	¥26,400 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	「Excel 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

2日間 **Excel 2021 マクロ / VBA 入門**

マクロ記録で単純な処理を自動化する方法や、VBE でマクロを編集する方法を解説します。データ入力処理、データ検索処理、印刷処理などを取り入れた実用的なシステム作成を実習します。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●マクロの作成 ●マクロの編集 ●モジュールとプロシージャ ●変数と制御構造 ●販売管理プログラムの作成 ●デバッグ
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~17:00
受講料	¥40,700 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	「Excel 応用」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

1日間 **PowerPoint 2024 基礎**

スライドの作成や編集、プレースホルダの編集などの基本的な操作をはじめ、写真・イラストやグラフ、表、図形などを取り入れた表現力のあるプレゼンテーション資料の作成について実習します。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●PowerPoint の基礎知識 ●プレゼンテーションの作成 ●表の作成 ●グラフの作成 ●図形や SmartArt グラフィックの作成 ●画像やワードアートの挿入 ●特殊効果の設定 ●プレゼンテーションをサポートする機能
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~16:30
受講料	¥13,200 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	「Word 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

3日間 **Word & Excel & PowerPoint 速習**

ビジネスで必要不可欠なアプリケーションである文書作成ソフト「Word」、表計算ソフト「Excel」、プレゼンテーションソフト「PowerPoint」の基本操作からアプリケーションの連携操作まで、短期間で修得することができます。

内 容	<p>【Word】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Word の基礎知識 ●文書の作成と印刷 ●グラフィック機能の利用 ●表の作成 <p>【Excel】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Excel の基礎知識 ●表の作成 ●グラフの作成 ●データベースの利用 <p>【PowerPoint】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●PowerPoint の基礎知識 ●プレゼンテーションの作成 ●プレゼンテーションの実行 <p>【OLE】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Word・Excel・PowerPoint の連携
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~16:30
受講料	¥28,600 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	マウス操作、日本語入力がスムーズにできる方

2日間

Access 2021 基礎

「売上管理」データベースの構築を通して、リレーショナルデータベースの仕組み、データの格納、データの抽出や集計、入力画面の作成、各種報告書や宛名ラベルの印刷などを実習します。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●Access の基礎知識 ●データベースの設計と作成 ●テーブルによるデータの格納 ●リレーションシップの作成 ●クエリによるデータの加工 ●フォームによるデータの入力 ●クエリによるデータの抽出と集計 ●レポートによるデータの印刷
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~16:30
受講料	¥28,600 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	「Excel 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

2日間

Access 2021 応用

効率よく作業を進めるテクニックとして、さまざまな関数の利用、アクションクエリの作成、メイン・サブフォームやメイン・サブレポートの作成などを実習します。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●テーブルの活用 ●リレーションシップと参照整合性 ●クエリの活用 ●アクションクエリと不一致クエリの作成 ●フォームの活用 ●メイン・サブフォームの作成 ●メイン・サブレポートの作成 ●レポートの活用
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~16:30
受講料	¥33,000 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	「Access 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

試験のご案内

CBT 方式による各種試験会場として認定されています。

当社では以下の試験を受験できます。

試験の概要・スケジュールなど、詳細は下記試験実施機関もしくは弊社までお問い合わせ下さい。

オデッセイコミュニケーションズ

マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS)

バージョン 365 各科目

※試験の詳細は MOS 公式サイトをご覧ください。

<https://mos.odyssey-com.co.jp/index.html>

Odyssey CBT

各種専門知識の試験

- ・統計検定
- ・VBA エキスパート
- ・Python エンジニア認定試験
- ・PHP 技術者認定試験 など

※試験の詳細は Odyssey CBT 公式サイトをご覧ください。

<https://cbt.odyssey-com.co.jp>

CBTS 認定テストセンター

IPA 情報処理技術者試験

- ・情報セキュリティマネジメント試験
- ・基本情報技術者試験

日商簿記 2 級・3 級

ICT 支援員認定 など

※試験の詳細は CBTS ソリューションズのホームページをご覧ください。

<https://cbt-s.com>

ビジネス能力認定サーティファイ

Web クリエイター能力認定試験

コミュニケーション検定

※試験の詳細はサーティファイのホームページをご覧ください。

<https://www.sikaku.gr.jp>

その他のご案内

◆パンフレットの内容に関して

当社研修は外部講師で成り立っておりますので、止むを得ず講師変更や日程変更が発生する場合があります。変更があった場合の最新の日程についてはホームページにて随時掲載いたします。最新の情報については、ホームページをご確認ください。

申込者の状況、実施時点での技術動向、講師の実務経験等により最適な研修を実施することを心がけております。したがって記載内容を変更することもございますのでご了承ください。

◆年間研修計画提示のお願い

年間研修計画をお持ちで当社研修へ派遣計画がある場合、円滑に遂行できるよう計画書をいただきたくお願い申し上げます。様式は問いませんので「どの研修に何人」という資料で結構です。

また、本申込としては扱いませんので実際の受講義務は発生しません。

本申込は都度ご連絡願います。

作成します!!

オリジナルコース

企業・団体様のご要望により、各種IT研修を実施しております。ご希望の日時・人数・ご予算等に応じて研修カリキュラムを作成いたします。お気軽にご相談ください。

[研修実施例]→

新入社員向けパソコン基礎研修
社員向けパソコン基礎研修……etc.

オンライン講座

岩手ソフトウェアセンターでは、集合研修のほかにオンライン講座も開催しています。

各講座のカリキュラムなど詳細は、別冊「2026 年度オンライン講座」パンフレットや岩手ソフトウェアセンターのホームページでご案内しておりますので、ぜひこちらをご覧ください。

どこからでも受講できます

会社や自宅、お好きな場所から受講できます。
研修会場への移動時間は必要ありません。

全国の方と交流できます

全国の地域ソフトウェアセンターが共同で開催する講座のため、他県の方など、普段接する機会が少ない地域の方と、交流を図りながら受講できます。

聴くだけの講座ではありません

講師の話を一方的に聴くだけの講座ではありません。
Zoom のブレイクアウトルーム機能、オンラインホワイトボードを使用したグループワークなど、演習も盛りだくさん。
分からないことはその場で確認、講師や他の受講者のフィードバックを受けて、しっかり身に付けることができます。

助成金も使えます

10 時間以上のコースは厚生労働省「人材開発支援助成金」を利用したの受講も可能です。

※「人材開発支援助成金」を利用するには、事前の申請が必要になります。
詳しくはお近くの労働局にお問い合わせください。

研修名	受講料 (税込)	日数	開催日	時間
IT スキル				
Python&Excel で業務活用	¥55,000	3日間	12月 7日~9日	13:00~17:00
生成 AI と Excel で学ぶビジネスデータ分析	¥40,700	2日間	2027年 1月 19日~20日	13:00~17:00
生成AIと学ぶ Python プログラミング	¥40,700	2日間	2027年 2月 4日~5日	13:00~17:00
G 検定への招待	¥55,000	3日間	2027年 2月 8日~10日	13:00~17:00
NEW JavaScript リアルタイム通信の核心	¥40,700	2日間	8月 27日~28日	13:00~17:00
NEW JavaとJUnitによる品質向上と効率的なテスト設計の基礎	¥40,700	2日間	9月 10日~11日	13:00~17:00
NEW Spring の核心 DI/AOP 基礎徹底	¥40,700	2日間	9月 24日~25日	13:00~17:00
NEW モダン C#の核心 ラムダ式と非同期処理	¥40,700	2日間	10月 29日~30日	13:00~17:00
NEW PostgreSQL jsonb 実践	¥40,700	2日間	11月 26日~27日	13:00~17:00
NEW Laravel の核心 Eloquent と Façade	¥40,700	2日間	12月 17日~18日	13:00~17:00
ヒューマンスキル・ビジネススキル				
IT 技術者ためのドキュメンテーション	¥55,000	3日間	8月 3日~5日	13:00~17:00
IT 技術者ためのコミュニケーション	¥55,000	3日間	8月 24日~26日	13:00~17:00
IT 技術者のためのネゴシエーション	¥55,000	3日間	9月 1日~3日	13:00~17:00
IT 技術者のためのリーダーシップ	¥55,000	3日間	10月 5日~7日	13:00~17:00
NEW キャリアの"未来"を描ける職場をつくる 1on1 実践ワークショップ	¥40,700	2日間	12月 15日~16日	13:00~17:00
NEW AI時代を導く俯瞰力 自分の軸で考え、未来をひらくメタ思考トレーニング	¥40,700	2日間	12月 21日~22日	13:00~17:00
NEW 生成AIを活用した「超」時短術	¥40,700	2日間	2027年 2月 1日~2日	13:00~17:00
NEW ゲーム感覚で学ぶ問題解決の基本	¥22,000	1日間	6月 22日	13:00~17:00
NEW プレイングマネージャーのためのチームマネジメント入門	¥22,000	1日間	8月 31日	13:00~17:00
NEW プレイングマネージャーのための部下・後輩育成の極意	¥22,000	1日間	10月 19日	13:00~17:00
IT 技術者のためのメンタルヘルス・マネジメント	¥40,700	2日間	11月 9日~10日	13:00~17:00
アンガーマネジメント×褒め方叱り方トレーニング	¥22,000	1日間	12月 14日	13:00~17:00

助成金のご案内

正社員の職務に必要な知識・技能の向上のために人材開発支援助成金を使ってみませんか？

助成金の詳細については、厚生労働省のホームページ、または岩手労働局職業対策課分室へお問い合わせ下さい。

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合や人材育成制度を導入し労働者に適用した際に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。詳細については、ホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

【人材育成支援コース】

・職務に関連した知識や技能を習得させるため、OFF-JTにより実施される **10時間以上**の訓練

助成額及び助成率	中小企業		中小企業以外	
		賃金要件又は資格手当要件を満たす場合		賃金要件又は資格手当要件を満たす場合
経費助成	45%	60%	30%	45%
賃金助成(1人1時間あたり)	760円	960円	380円	480円

◆利用できる事業主

- ・雇用保険の適用事業所
 - ・職業能力開発推進者の選任、事業内職業能力開発計画、職業訓練実施計画届の作成 など
- ※助成金受給に際しては他にも要件があります。

◆助成対象となる訓練形態

- ・事前に申請手続きを行い、認定された講座
- ・実訓練時間数の8割以上出席すること

◆対象者

- ・雇用保険の被保険者

◆支給限度額など

- ・助成対象となる訓練コース数は1人あたり1年度3コースまで
- ・1事業所が1年度に受給できる助成上限額は1,000万円

◆助成金活用例(岩手県内中小企業の例)

受講期間 3日間(20.5時間)

受講料 82,500円(消費税込) の場合

経費助成	37,100円	経費(82,500円)の45%
賃金助成	15,500円	760円×20.5時間
合計	52,600円	
実質負担額	29,900円	

※制度・内容が改正されている場合があります。最新の情報は厚生労働省のホームページをご確認ください。

研修受講のご案内

◆研修内容について

受講者の実務経験、実施時点での技術動向等を鑑み、より最適な研修を実施することを心がけております。ソフトウェアやライブラリの更新、最新の情報に沿った研修内容へ改善のため、趣旨を逸脱することなく研修内容を更新させていただくことがあります。予めご了承ください。

◆研修実施方法について

感染症等の拡大状況等、諸般の事情により、研修実施方法を集合研修からオンライン研修などに変更する場合がございます。最新の情報はホームページにてご案内いたします。

◆お申込み

受講申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、E-Mailのいずれかでお申し込みください。お申込みはなるべく**開催1ヶ月前**、遅くとも2週間前までにご連絡願います。研修開催2週間程前に請求書と受講票をお送りいたします。なお、受講申込書は当社ホームページに様式がございますのでダウンロードの上ご利用ください。

◆お申込み特典

研修**2週間前までに3名様以上**まとめてお申込みいただいた場合、**受講料が10%OFF**になります。
※新入社員研修(全科目受講・科目選択受講)及びPMP®受験対策基礎講座は割引対象外となりますので、ご了承ください。

◆受講料のお支払いについて

受講料は請求書をご確認の上、**研修開催の前日まで**に指定の口座へお支払いください。なお振込手数料はお客様のご負担にてお願いいたします。研修開始から**7営業日以内**の受講申込取消につきましては、受講料を全額ご負担いただきますので、あらかじめご了承ください。

◆その他

申込者数や講師の都合などにより、研修内容や研修日程の変更、あるいは研修の開催を中止する場合がございます。当社研修では最小催行人員の規定はありません。科目ごとの事情により変動いたしますのでご了承ください。

◆研修会場のご案内

マリオスへはJR盛岡駅2階北側から西口自由通路(さんさこみち)をご利用ください。当社までは公共交通機関をご利用になるのが便利です。なお、マリオスに隣接する盛岡駅西口駐車場は有料です。駐車料金は受講者のご負担となりますのでご了承ください。

2026～2027研修カレンダー

7～9 コンピュータシステムの基礎
 10・13～14 システム開発の基礎
 15～17・20～21 Javaプログラミング①
 23～24・27～28・30 Javaプログラミング②

2026年4月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2026年5月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1・7～8 Javaプログラミング②
 11～14 データベース入門
 15・18～19 Webページ作成実習
 20～22・25～27 サーバサイドプログラミング
 28～29 最終課題 アプリケーションの設計と実装

1～5・8 最終課題 アプリケーションの設計と実装
 24～25 C#プログラミング基礎

2026年6月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2026年7月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9～10 IT技術者のためのコミュニケーション
 16 AIエージェント時代の生成AIリテラシー
 23～24 IT技術者のためのドキュメンテーション

6～7 プロジェクトマネジメント基礎講座

2026年8月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2026年9月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2 PMBOK®ガイド第8版の変更概説
 3～4 PMBOK®ガイド入門
 9～11 失敗しないプロジェクトのための段取り力
 14～16 IT技術者のためのネゴシエーション

6～7 フィジカルAI入門演習
 14～16 IT技術者のためのリーダーシップとチームビルディング
 19～21 失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力
 26 トラブル事例や裁判事例よりプロジェクトマネジメントを振り返る
 27 DX時代をリードするPMのためのビジネスアナリシス
 29～30 チームリーダーのための人に教える技術

2026年10月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2026年11月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

11～12 AIエージェント時代のソフトウェア開発実践演習
 19～20 プロジェクトマネジメント実践(プロシミュレーション)講座
 26～27 顧客の心をつかむITソリューション提案の実践

2026年12月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2027年1月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2027年2月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2027年3月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

(株)岩手ソフトウェアセンター 研修担当 行
FAX 019-621-5464

受講申込書

受講研修名	研修開催日	受講料(消費税込・教材費込)
	月 日～ 月 日	円

フリガナ	所属部署・役職		
受講者名1			
生年月日	年 月 日(才)	性別	男・女

フリガナ	所属部署・役職		
受講者名2			
生年月日	年 月 日(才)	性別	男・女

フリガナ	所属部署・役職		
受講者名3			
生年月日	年 月 日(才)	性別	男・女

会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
申込責任者 氏名	申込責任者 所属・役職		
E-Mail			

※ 複数枚必要な場合はコピーの上でお使いください。

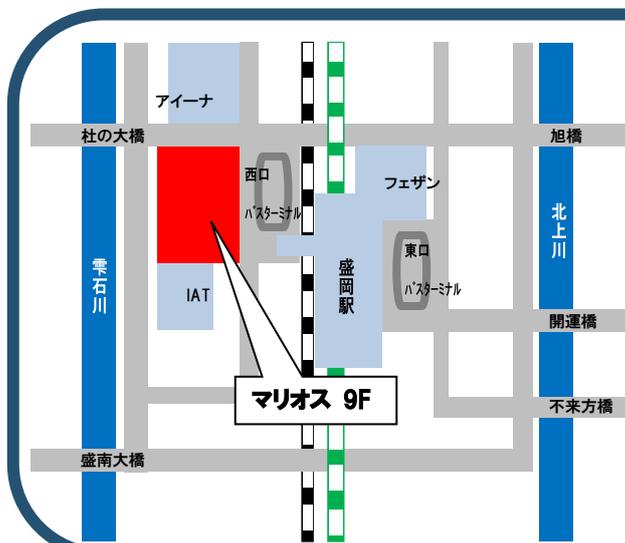
※ 研修開始 7 日以内の受講申し込み取消は受講料・教材費・消費税を全額お支払い頂きます。

【個人情報保護に関して】

※ 受講者の個人情報は研修運営の目的においてのみ使用いたします。

※ 窓口担当者の方の情報に関しては研修事務連絡のほか、当社からの研修案内の送付等に活用させていただきます。他社への情報開示等は一切行いません。

株式会社 岩手ソフトウェアセンター
TEL 019-621-5454 FAX 019-621-5464



お申込み・お問い合わせ

株式会社岩手ソフトウェアセンター

(研修担当まで)

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号

マリオス 9F

[TEL] 019-621-5454

[FAX] 019-621-5464

[E-Mail] seminar@isop.ne.jp

[URL] <http://www.isop.ne.jp/isc/>